

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 一般-04

学校名・団体名	花巻市立湯口中学校
HPアドレス	http://www.city.hanamaki.iwate.jp/yuguchc/
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	郷土芸能の継承と発信・岩手を元気に！
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <ul style="list-style-type: none">・湯口に伝わる伝統芸能を継承し、地域の指導者とふれ合う中で地域を敬う気持ちを育てる。・発表活動を通して、表現力を磨くと同時に湯口中を全県に発信する。	

1. 対象生徒

全校生徒

2. 目的

地域に伝わる伝統芸能を習得し、継承するとともに県の中学校総合文化祭で発表する。

3. 活動時期および内容

(1) 4月

1年生を中心に指導者より体育祭に向けての円万寺神楽の振り付けの指導を受けた。特に留意した事は円万寺神楽の歴史的背景についての指導である。その中で生徒達は、円万寺神楽は古くから湯口地区に伝承される山伏神楽で同地区観音山にある円万寺を拠点にした山伏修験者達が伝えたものであることを知った。

また、堂前(お囃子)については前年度まではCDで行っていたことから今年度は堂前ボランティアを全校から募集し指導を受けることとした。

(2) 6月

地区民運動会での円万寺神楽披露に向けて神楽の振りを完璧に覚えることを目標とした。特に堂前についての指導は入念に行って頂いた。

(3) 10月~11月

本番を前に助成金で揃えた衣装を身につけて練習を行った。弊足も指導者からの助言を受け、作成した。また、発表用プレゼンテーションソフト(本校の紹介と円万寺神楽の言い伝え)を生徒会執行部で作成した。衣装の着付けについては保護者にも協力を頂くことができた。

(4) 11月6日

県中文祭を前に、この市中文祭での発表をプレ披露と位置づけた。課題が演舞やお囃子にメリハリを付けることにあったのでその後も課題を中心に練習を重ね本番に備えた。

(5) 11月20日

岩手県中学校総合文化祭当日、生徒・保護者・指導者・教員一行はバスに乗り込み、岩手県民会館を目指した。会場ではリハーサル室で衣装に着替え、最後の練習を行い本番に臨んだ。我々の出演順は最後のトリであり、生徒達が緊張をしているのが十分に分かった。そして本番。



(ここに生徒の作文を紹介)

「湯口中学校は、2年生と3年生の有志24名(踊り手15名、お囃子9名)で今回の発表に臨みました。はじめに大ホールに案内された時、県民会館のホールの広さと観客の多さに私は圧倒されました。そして、その舞台に自分たちも上がるのかと思うと一気に緊張が高まってきました。衣装を身につけての最後のリハーサル。私たちは胸をどきどきさせながら、演舞やお囃子の確認を何度も繰り返しました。そして迎えた本番。深呼吸をして神楽を舞い始めると、不思議なことに学校の体育祭で全校生徒で神楽を披露した時のことや中文祭に向けて有志のみんなと練習に励んだ時のことが思い出されてきました。次第に気持ちが落ち着き、気がつくとは楽しみながら神楽を舞っていました。仲間と一緒に、今までで一番よい踊りを披露することができたと思っています。発表を終えるまでには多くの方々のお支えがありました。指導者や保護者の皆さん、本当に有り難うございました。」

4. 成果および子ども達への効果

- 子ども達が地域の指導者と関わっていく中で、地域の良さや地域の伝統芸能を継承することの大切さを学ぶことができた。
- 県の中文祭で学校を紹介し「円万寺神楽」を演舞したことで、古里の湯口を全県に発信できた。
- 当初の目的である「岩手を元気に」は、県の中文祭では本校を含め16の学校からの発表があり、被災地の学校にも元気を与えることができた。また、本校も他校の発表から元気を頂いたことで、「円万寺神楽」を益々大切にしていかなければならないという気概を子ども達が持ったことが生徒作文から分かった。